



中学校部活動の地域移行と 1人1端末環境の取組について

岩上 博志 議員

部活動の地域移行について

質問 部活動地域移行の進捗状況は、どのようになっていますのか伺います。

答弁 9月に、市内中学校部活動顧問及び副顧問を対象に意識調査を実施し、実態把握に努めました。また、11月15日に、市内中学校関係職員及び市教委関係職員

を対象に、県教委健康体育課指導主事による研修会を開催し、地域移行の意義や方向性について共通理解が図れるよう努めました。

質問 各顧問への意識調査の結果について伺います。

答弁 「休日の部活動が地域移行した際に、指導に携わりたいか」という問いに

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

質問 指導者確保以外の課題について伺います。

答弁 大きく3点課題があり、1点目が児童生徒及び保護者等への周知を図り、理解を得ていくこと。2点目が保護者の経済的負担軽減。3点目が受皿等の環境を整備していくことです。

行財政運営について 本市の方向性について

吉野 高史 議員



質問 私が初当選した時に先輩議員から「最も大切な仕事は予算案をしっかりと審議し市民生活が困らないように通すこと」「一般質問は議員として大切な仕事」と教えられた。初当選した皆さんは「正々どんどんと一般質問を行い、市民への情報発信をしてください」

經常収支比率の意味合いは。どの収入と固定的な経費の

答弁 市税や地方交付税など

の収入と固定的な経費の比率です。

質問 比率は毎年97〜98%。県内35自治体中30位前後が続いているが、原因は。

答弁 高齢化等による扶助費の増加、公共施設の維持管理費等が要因です。

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

質問 指導者確保以外の課題について伺います。

答弁 大きく3点課題があり、1点目が児童生徒及び保護者等への周知を図り、理解を得ていくこと。2点目が保護者の経済的負担軽減。3点目が受皿等の環境を整備していくことです。

質問 1人1端末環境の取組

質問 導入から1年半が経

過したが、1人1端末環境の現状について伺います。

答弁 端末の活用場面としては、児童生徒への教材提示だけにとどまらず、各自の記述を教師に提出することとで、全員の意見を画面上で確認して考えを深めたり、遠隔地にいるゲストティーチャーとオンラインで意見交流したりするなど多岐にわたっています。

質問 小学校1、2年生に1人1端末が配備されていないことによるデメリット

政運営に努めていきます。

質問 将来負担比率とは。

答弁 収入に対し将来、市が負担する割合で、将来の財政を圧迫する比率です。

質問 将来負担比率は県内35自治体中35位。どのように改善していくのか。

答弁 新たな市債を抑え、施設の延命等、行財政改革を推進していきます。

質問 市債が一般会計の他に一部事務組合での負担割合を合わせると、約430億円あるが、どうするのか。

答弁 市民ニーズの多様化に対応していきます。

質問 選挙公約のチェンジ

要望 皆さんの行財政運営のDNAを一刀両断する本当の行政改革を要望する。

質問 選挙公約のチェンジ

1〜5の進捗状況の答弁があったが、前市長がレールを敷いた内容だ。チェンジがブーメランのように自分に返ってこないためには。

答弁 市民ニーズの多様化に対応していきます。

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。

対し、「携わりたい」が15.4%という回答となっております。指導者の確保は大きな課題の一つとなっております。